

令和5年度第1回教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録

開催日 令和5年11月21日(火) 17:00～18:20 2023年11月22日

参加メンバー 教育課程編成委員(有識者)

社団法人全日本司厨士協会関東総合地方本部新潟県本部会長 豊嶋様

新潟県菓子工業組合 専務理事 古川様

新潟県栄養士会 会長 折居様(オンライン)

教育課程編成委員(シェフ学科) ㈱万代シルバーホテル名誉料理長 森本様

(健康給食学科) ㈱日本フードリンク会長 後藤様

(カフェ学科) ㈱エフエムアイ 荒井様(オンライン)

(パティシエ学科) ㈱山重 代表取締役 山崎様

(栄養士学科) 日清医療食品株式会社中部支店管理部 池田様

学校関係者評価委員

(業界代表) ㈱マルゼン 渡辺様

(卒業生) 焼肉バル焼 NIQ 須藤様

(卒業生) 宝山㈱ 手塚様

(卒業生) ㈱日本フードリンク 加藤様(オンライン)

(卒業生) Allenson オーナー 相羽様(欠席)

学校関係者 (学校長) 石田

(副校長) 山本

(教務部長) 竹内

(調理師学科主任) 荒川

(調理系2年制学科主任) 本間

(パティシエ学科主任) 星野

(栄養士学科主任) 鷺頭

開催場所 国際調理製菓専門学校 本館2F レストランサービス実習室

学校長挨拶

参集の御礼

学生のコロナ禍が明け、学校についてはコロナ前の日常が戻り予定された教育プログラムは予定通り実施でき充実している。昨今の学生の状況を見るとコミュニケーション能力に課題がある学生が多くなってきているため今までの学生指導が通用せず今まで以上に個々の対応が必要となってきている。学校としても業界が求めるスキルを身に付けて社会で活躍するために皆様より意見を頂戴し役立てていきたい。また、意見聴取として業界の課題と求める人材像についてもご報告いた

だきたい。

令和5年度教育活動報告（中間経過報告）

調理師学科担当主任 荒川 調理師学科活動報告

調理系2年制主任 本間 シェフ学科・健康給食学科・

パティシエ学科主任 星野 パティシエ学科・フードプロデュース学科活動報告

栄養士学科主任 鷲頭 栄養士学科活動報告

教務部長竹内より就職内定状況報告

今年度の動向として、内定を早期に獲得しているのは集団給食分野である。

その他、調理分野・パティシエ学科はまだ学生が決めきれていない学生がいるが活動は継続している。ゆっくりな学生が多い感じはする。就職の勤務地についてはコロナ禍が明け、関東圏への就職希望者が多くなってきている。また、県外からの入学者が地元へ帰るケースもある。健康給食学科や栄養士学科においては、県内就職が多くなっている。

教育課程編成委員の皆様より

- ・企業ではどんな業務でもコミュニケーション力は重要である。コミュニケーション能力向上のための教育プログラムはとても良いと感じる。それに加え、安心安全な食の扱い方食中毒の知識衛生管理についても重要のため重要視してもらいたい。HACCPを導入している店舗も多くなってきているので教育内容を強化してほしい。
- ・コロナで落ち込んだ冠婚葬祭も戻ってきている。特に結婚式は回復期にある。しかし、以前より単価は下がる傾向にある。昨今は、イベント時販売の焼き菓子（マフィン・かぼちゃのパウンドケーキ等）で食中毒が発生。菓子工業組合としても注意喚起を徹底する。学生の皆さんにも知っておいてもらいたい。
菓子博の開催が決定。2017年三重で実施されて以来開催できなかったが2025年5月31日より北海道旭川で開催予定。予算がかかりすぎるので規模縮小し実施する。業界は人手不足が深刻である。食材費高騰、残業時間・手当の問題もある。
- ・アレルギーの知識に関しても食に携わる職業は大切な知識。重要視してもらいたい。また、SDG'sが推進されている中、業界としても食品ロスを無くす・エコを考えることも大事である。
- ・調理は、調理過程においておいしさも安全管理も温度管理が必要。科学的な知識も学んでほしい。どの業界でも挨拶は大切な能力。コミュニケーションスキルを身に付けることが大事。人との関りは、「礼で始まり礼で終わる。」
- ・パンの業界大手は順調に回復。中堅はM&Aで生き延びる企業もある。地方は食材の高騰や人手不足に加え後継者問題もある。食材の確保という意味でも県内産の食材を使うようにしている。
- ・5Sの重要性。整理・整頓・清掃・躰・清潔これが確実にできるようになってほしい。
- ・全国的に人手不足は課題であるが、東京はより顕著。即戦力よりも長く続く人が求めら

れる。

学校関係者評価委員

- ・在学していた時代よりたくさんの校外実習があり充実して大変良いと感じる。学校内だけでなく外でいろいろ体験することで成長することもあると思う。
- ・在学時学んだ挨拶の重要性を社会人になりさらにその重要性を実感している。自ら挨拶することで仕事がスムーズに進んでいる。人間関係を構築するためにも習慣付けてほしい。
- ・就職を希望する側が今までにも増して多様化しいろいろな価値観を持って就職してくる。受け入れ側も時代に即して変わっていかなければならないと感じる。
- ・専門学校では、横のつながりを大事にしてもらいたい。チームビルディングの重要性。よいチームを作ることで、個人の能力が最大限発揮される。自己開示力も必要。
- ・です。ます。がしっかりしている人は好感が持てる。しっかりした言葉遣いを学んでもらいたい。気が利く子、先を読んで行動できるスキルが求められる。

委員会後記

教育内容として食材教育・実践教育・人間性教育・国際性教育の4つの柱に基づいた教育プログラムを説明した。前期を修了し予定通り遂行している。

例年より地域貢献や企業とのコラボレーションイベントが多く教職員の負担も多くなっているが学生にとっては充実した学校生活となっていると感じる。

各委員会の皆様には、イベントの多さや教育内容について賛同をえることができた。

また、業界の現状及び必要なスキルをお伺いしたことを踏まえ後期及び次年度のカリキュラムに加えよりよい学校運営をしていく。

次回の開催は令和6年3月12日（火）を実施予定とする。